

4. 各教科の進度表1（国語、数学、英語）

学年	中学校			高等学校		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語を適切に使用でき、正確に表現・理解する能力を育成する。思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。また、国語に対する認識を高め、国語を尊重する態度を育てる。			国語を適切に表現し、現代文・古文・漢文を読解する能力を育成する。思考力を伸ばし、心情を豊かにする。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。		
	中1教科書・補助教材 口語文法 国語辞典・漢和辞典の使い方 漢字(漢字対応テキスト使用、漢検全員受験(3級)) 小倉百人一首 表現指導	中2教科書・補助教材 口語文法 漢字(漢検対応テキスト使用) 表現指導	中3教科書・補助教材 古典(自主教材) 古典文法 漢字(漢検対応テキスト使用、漢検全員受験(準2、2級)) 表現指導	現代文 古文 漢文 古典文法 漢字(大学入試対応テキスト使用) 表現指導	各科目とも教科書を使用 漢字(大学入試対応テキスト使用) 表現指導 古文単語 現代文用語	教科書 自主教材 問題演習(入試問題対応テキスト使用) 古文単語 現代文用語 日本文学史
数学	数学の楽しさを知り、興味・関心を高め、数学的基礎力を育てる。宿題、プリントなどにより、日々の学習を確認し、基礎の徹底を図る。		社会で活躍するための数学的発想力・思考力の基礎を育てる。生徒の理解と興味関心を一層高める。		知識の幅を広げ、数学的発想力・思考力・応用力を育てる。大学で学ぶことへの橋渡しとなる学習、進路授業	
	中学教科書		高校教科書 数学I・A・II・B		文系 数学IIIの一部 理系 数学III	問題演習(選択者のみ)
英語	中学教科書の内容（基礎力育成）		高校教科書の内容（総合力育成）		高度な力の育成	
	文法・音声の基礎力 スキット・基本例文の暗唱 伝えようとする意欲と発表力 基礎語彙の習得 四技能の基礎		高校英文法の完成 精読やささまざまなアプローチによるリーディング力 基本構文からひとまとまりの文章までのライティング力 高校語彙の習得 四技能のバランス良い伸長			
英会話 (オーラル・イングリッシュ)	英語の基本を身につけ、簡単な英語を用いてコミュニケーションが行えるようにする。 Develop students' English identity. Coach students to express themselves confidently and fluently in the language while improving pronunciation and public speaking skills.			英語を話す力をさらに伸ばし、自信を持ってコミュニケーションができるようにする。 Expand students' speaking and listening abilities so they may gain the confidence needed to express themselves naturally.		
	活動例 Self introduction presentation Read Cinderella in English Short presentation about a foreign country Storytelling Songs	Show and tell Skits Presentation-giving instructions Interviews Games	活動例 Partner activities Group generated projects English-English dictionary work Role playing Reading Debates	Songs Movies Puzzles Presentations Storytelling Opinions	Games Speeches	

4. 各教科の進度表 2 (理科、社会)

学年	中学校			高等学校		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
理科	<p>自然の事物・現象に積極的に関わろうとする心と理科的な見方・考え方をさまざまな観察・実験を通して身につける。また科学的に探究しようとする態度や探究するために必要な技能を養う。</p>			<p>基本的な実験や発展的な課題の研究を通して、自然に関する探究心を高め、科学的な思考力や判断力が身付くようにする。</p>		
	<p>4分野のうち、化学分野と生物分野について学習する。 化学分野：物質のすがた、水溶液状態変化、物質の成り立ち 生物分野：いろいろな生物の共通点、生物の体のつくりと働き</p>	<p>4分野のうち、物理分野と地学分野について学習する。 物理分野：光、音、力、電気、運動エネルギー 地学分野：大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙</p>	<p>4分野のうち、化学分野と生物分野について、高等学校の学習内容を含めて発展的に学習する。 化学分野：原子の構造、電子配置、化学結合、化学変化、物質質量、酸と塩基 生物分野：生命の連続性、自然と人間</p>	<p>化学基礎：酸化・還元、化学反応とエネルギーを中心に学習する。発展的な内容として、物質の状態を扱う。 生物基礎：生物学を学ぶ上で大切な多様性と共通性の視点から、日常生活や社会とのかかわりを考える。</p>	<p>物理基礎：物体の運動を中心に、様々な物理現象を学ぶ。 理系選択者は「化学」と「生物」も学習。 化学：実験を通じて、反応の速さ、化学平衡、無機化学、有機化学を中心に学ぶ。 生物：実験・観察を通じて、生体分子の機能から生命現象を捉え、生命現象のしくみや概念、生物同士の関係性を考える。</p>	<p>文系選択者は「演習化学・生物」が履修可能。大学入試共通テストの対策を行う。 理系選択者は「化学・物理・生物」の各科目から、自身の進路に必要な科目を履修し。大学入試に必要な問題演習や実験・観察等を行う。</p>
社会 (地理歴史・公民)	<p>社会科3分野について、基本用語の理解を進める。歴史的分野、地理的分野、公民的分野の関連性をもたせ、総合的な思考力の育成を図る。</p>			<p>社会生活における思考・行動様式の形成過程の社会化に対する積極的な支援を行う。</p>		
	<p>地理的分野：読図、地名教育、生活・文化学習 歴史的分野：人物学習、世界史上の出来事との有機的連関係レポート作成能力の養成。</p>	<p>公民的分野：公民的資質の向上に資するため、自主的な学習を行う。</p>		<p>世界史B：文化圏の形成のプロセスを学習することで、歴史意識の涵養を目指す。 倫理：現代社会の諸相、青年期の意義、古代の思想家たちを扱う。</p>	<p>日本史B：諸資料を参考に地理的条件や世界位と関連付けて歴史的思考力を養う。 地理B：系統地理の視点を中心に、世界の諸地域の理解を進める。 政治・経済：基本的知識を確認しながら、時事的な問題にも関心を向けるように促す。</p>	<p>選択日本史・選択世界史：近現代史を中心に学習する。 演習（日本史・世界史・地理）：オリジナル創作問題などを通じて、本質的理解を目指す。 倫理：現代思想までを扱う。 演習公民：政治経済・倫理の既習範囲を中心に、問題演習を行う。</p>

4. 各教科の進度表 3 (芸術、保健体育)

学年	中学校			高等学校		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
芸術	<p>中学の「音楽」では、発声の基礎や重唱・合唱、また器楽アンサンブルなどを取り入れ、豊かな表現を養う。中学の「美術」では、基礎的な技法や観察表現の仕方を学び、技術・感性・知識を高める。</p>			<p>「音楽」「美術」「書道」の中から1科目を選択し、それぞれの科目のそれぞれの作品とじっくり向き合う中で、より豊かでより深い芸術表現を目指していく。</p>		
	<p>音楽：基礎発声、聖歌、重唱、合唱、器楽アンサンブル、音楽鑑賞 美術：デッサンの基礎、色の構成、彫刻、ビデオ鑑賞</p>			<p>音楽：合唱、重唱、ア・カペラ、アンサンブル、イタリア歌曲、日本歌曲、初歩的な作曲、ミュージカル歌唱、合奏等 美術：デッサン、着彩、立体造形、工芸、ビデオ鑑賞、油絵等 書道：書の基本・歴史、古典の鑑賞・臨書、仮名、実用書等を学ぶ。</p>		
保健体育	<p>体育：積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。自分なりに課題を解決することにより運動の楽しさ、喜びを身につける。 保健：個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力の基礎を培い、実践力の育成を図る。</p>			<p>体育：健康・安全について理解するとともに、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。 保健：中学校の科学的な理解をふまえ、個人生活や社会生活における健康・安全に関する事柄に興味、関心を持ち、科学的に思考・判断し、総合的にとらえることができる。</p>		
	<p>体育：集団行動、体づくり運動、バスケットボール、水泳、陸上（中距離走、走り幅跳び、短距離、リレー）、武道（少林寺拳法）、器械体操（マット運動）</p>	<p>体育：集団行動、体づくり運動、バレーボール、水泳、陸上（高跳び）、武道（少林寺拳法）、パドミントン 保健：心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、障害の防止、健康な生活と病気の予防</p>	<p>体育：集団行動、体づくり運動、水泳、陸上（60mハードル）、ダンス、バレーボール</p>	<p>体育：集団行動、体づくり運動、陸上（中距離走）、水泳、硬式テニス、器械体操（平均台、マット運動）、バスケットボール 保健：救急法、欲求と適応規制、エイズ、心身の相関とストレス、飲酒、喫煙、生活習慣病、医薬品、薬物乱用</p>	<p>体育：集団行動、体づくり運動、陸上（中距離走）、水泳、バレーボール、新体操（ボール、フープ） 保健：救急法、男性・女性の性、妊娠・出産、家族計画・中絶、生と性に関するテーマで判別課題学習と発表</p>	<p>体育：集団行動、体づくり運動、硬式テニス、水泳、パドミントン、選択球技</p>

4. 各教科の進度表 4 (宗教、技術・家庭、情報)

学年	中学校			高等学校		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
宗教	<p>キリスト教的土壌のない日本におけるミッションスクールへ入学してきた生徒たちに、知識的な面に偏ることなく、肌で触れるキリスト教の側面を大切に。「キリスト教に親しむ」「聖書に親しむ」という点に主眼を置き、現代社会の一般的価値との違いにも気づかせる。</p>			<p>中学3年間で親しんできたキリスト教を、ある程度、体系的・学問的に学ぶ。またそれに加え、現代社会に起こっているさまざまな問題に目を留め、各自がそれぞれの傾きに照らして何ができるか、どのような役割を担えるかを考え、将来につなげることを活かす。</p>		
	<p>キリスト教について(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明の星の学校生活とキリスト教 ・現代におけるキリスト教 ・人類の文化とキリスト教 <p>聖歌、文学、絵画、ビデオを通してキリスト教に親しむ。</p>	<p>キリスト教について(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イエス・キリストとはどのような人物であったか。 ・使徒たちが伝えたキリスト教 ・キリスト教の歴史 <p>イエスと使徒たちを中心に、聖書を抜粋して読む。</p>	<p>聖書について(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖書とはどんな書物か、について。 ・旧約聖書、新約聖書の概要を学ぶ。 ・人権、平和、日本とキリスト教の歴史的な出会いなどについて学ぶ。 	<p>聖書について(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧約聖書を主として扱い、創世記、出エジプト記などを中心に、ユダヤ・キリスト教の基本的な知識と、聖書の伝えようとするメッセージや人間観を読み取っていく。 ・新約聖書についても、旧約の伝統とのつながりを意識しながら適宜紹介する。 	<p>キリスト教の人間観(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新約聖書を主に扱い、福音書にみられるイエスの生涯、その思想を学び、そこからイエスが親しく「父」とよぶ神の思いに触れていく。 ・キリスト教の人間観をもって生きた人々について学ぶ。 	<p>キリスト教の人間観(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代人が直面する諸問題と聖書が伝えるメッセージを重ね合わせながら、人間の生き方、キリスト教の本質についての理解を深めていく。
技術・家庭	<p>家庭の一員としての役割を果たし、自立して生活するために必要な知識・技術の習得を目指す。</p>			<p>家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中で捉えることを目指す。また、各分野の知識・技術を総合的に学習し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力がつくようにする。</p>		
	<p>家庭領域は被服、技術領域は機械、電気、コンピュータについて、基本的な知識・技術の習得を目指す。</p>	<p>家庭領域として被服、住居、食物、実習を中心として学習する。</p>	<p>家庭領域として食物、実習を交えて学習する。</p>	/	<p>人の一生と発達、家族・家庭と社会、高齢期の生活、衣食住などについて総合的に学習する。</p>	<p>家族、生活設計、暮らし・経済など実際の生活の場で生きて働く力になるよう総合的に学習する。</p>
情報	/			<p>情報及び情報技術を活用するための知識や技能の習得を通して、情報社会に主体的に対応できる能力と態度を育てる。</p>		
	/			<p>・文章処理、表計算ソフト等の操作方法の習得</p> <p>・デジタル技術、ネットワークの仕組み、情報倫理について学ぶ。</p> <p>・プレゼンテーション発表</p>	/	<p>選択演習情報： 簡単なプログラムの作成について学ぶ。</p>